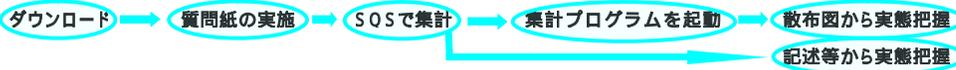


学級の雰囲気と自己肯定感を把握する質問紙 (C&S質問紙SQSVer1.2)の使い方  
「MarkReader2.1」対応

C&S質問紙 (SQS版) 実施の流れ



< C & S 質問紙SQS Ver1.2 C&S(SQS1.2)の実施手順 >

STEP1 Webページから C & S 質問紙SQSVer1.2 をダウンロードしアンケートを実施する。



C&S(SQS1.2)

小学校版「C&S質問紙SQSVer1.2」と中学校版「C&S質問紙SQSVer1.2」があります。実施する校種に合わせてダウンロード(保存)し、プリントアウトして実施してください。  
**男女別で集計する場合は、出席番号1～25でマークする。**  
**男女混合で集計する場合は、出席番号1～48でマークする。**

「C&S質問紙SQSVer1.2」の質問紙の下にはC&S(SQS1.2)と表記されています。  
\* MarkReader2.1対応のために作成したC&S質問紙を「C&S質問紙SQSVer1.2」及び「C&S(SQS1.2)」とします。

STEP2 質問紙の集計用プログラムをダウンロードする。



CSsqs12\_s1 CSsqs12\_c1



CSsqs12\_s2 CSsqs12\_c2

集計用プログラムには小学校用、中学校用があります。また、それぞれ男女別名簿用プログラム、男女混合名簿用プログラムがあります。プログラムはタイプ別に4つのフォルダ内に入っています。学級に合わせてフォルダをデスクトップ等に解凍して使用してください。

小学校男女別用 (CSsqs12\_s1)      中学校男女別用 (CSsqs12\_c1)  
小学校男女混合用 (CSsqs12\_s2)      中学校男女混合用 (CSsqs12\_c2)

\* これらのプログラムはC&S質問紙SQS Ver1.2用プログラムです。

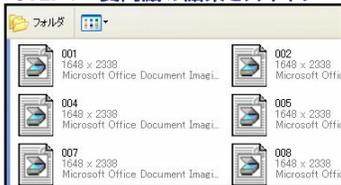
STEP3 質問紙の集計準備をする。



集計用プログラムのフォルダは学級毎に必要になります。  
複数のクラスで実施する場合は、コピーしてフォルダ名を変更してください。  
**ダウンロードや解凍でフォルダが2重になった場合は中のフォルダを取り出して使用してください。**

フォルダ内には、C&S質問紙の集計用プログラムとPDFファイルが入っています。  
この2つのファイルに変更を加えないで下さい。集計ができなくなります。  
\* 実際のファイル名は左のファイル名とは異なります。

STEP4 質問紙の結果をスキャナーを通してデジタルデータ化する。



質問紙(調査票)をスキャンして質問紙をデジタルデータ化し保存する。  
**保存先は集計用プログラムとPDFが入った学級毎のフォルダを指定して下さい。**  
スキャンが終了すると、フォルダ内には初めから入っていた2つのファイルの他に右のようなデータが保存されます。(表示はパソコンの設定により異なります。)  
\* 記述欄の結果はスキャナーを通した順に表示されます。

STEP5 SQS用のソフト「MarkReader2.1」を起動し集計する。



データ等が入っているフォルダを「MarkReader2.1」にドラッグ&ドロップすると読み取りが開始されます。  
質問紙の読み取り、データ化が終わるとソフトの右上の画面が変わり「Browser」等が表示されます。

シート	ファイル名	サイズ	タイプ
1	labubu		
2	CHART		
3	css		
4	TEXTAREA		
5	C&S質問紙		
6	SQS.csv		
7	C&S質問紙		
8	SQS.xlsx		
9	index.html		
10	sqs-results.xml		
11	config.xml		

\* シートを選択し、マークの確認修正など行うことができます。

記述欄は設問毎に表示されます。記述は番号順ではなくスキャナーで読み込んだ順に表示されます。  
「MarkReader」を終了してもフォルダ内にデータは保存されていますので結果を確認できます。  
\* 「Spreadsheet」でエクセルファイルを開いて、STEP7に進み集計することもできます。

**STEP 6 「処理結果」フォルダ内に作成されたデータの確認と、C&S質問紙の集計プログラムに読み込む準備をする。**

フォルダ内に「処理結果」のフォルダが作成されています。「処理結果」を開くと右のようなデータが保存されています。

「index」をクリックすると処理結果一覧が開きます。記述等が確認できます。

処理結果フォルダがindexからエクセルのファイルを開きます。

「処理結果一覧」の「XLSファイル形式」をクリックして開くか、フォルダ内の「...XLSXファイル」をクリックして開いて下さい。**エクセルファイルを開くとC&S質問紙の集計の準備完了です。**  
\* CSVファイルではありません。ご注意ください。

**STEP 7 C&S質問紙のSQS用集計プログラムを開く。**

「処理結果」内のエクセルファイルを開いた状態でフォルダ内の集計プログラムを開いてください。

左のような5つのシートでできたプログラムが開きます。

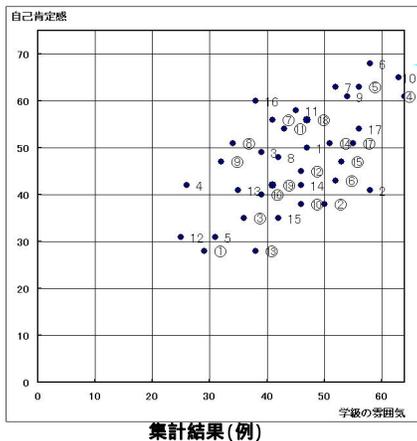
C&S質問紙の集計プログラムを開くと処理結果のエクセルファイルから「学級の雰囲気」、「自己肯定感」のシートへ数値が自動的に読み込まれます。部分は「学級の雰囲気」のシートに入力してください。他のシートには自動的にコピーされます。番号順にスキャナーを通さなくてもC&Sのデータは自動的に読み込みますが、記述欄は通した順になります。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
1			学校																				
2			01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	黒田	チェック	欄	
3	氏名	男子																				男女	番号
4		M-01	4	4	4	4	5	5	5	5	1	1	1	1	1	2	2	2	2	0	1	1	1
5		M-02	5	5	5	5	5	5	5	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	0	1	2	2
6		M-03	5	3	5	3	5	3	4	4	1	2	1	2	1	2	1	1	1	0	1	3	3
7		M-04	3	5	2	4	3	5	5	4	1	1	2	1	3	1	1	1	1	0	1	4	4
8		M-05	5	5	5	4	3	3	2	4	1	1	2	3	1	1	1	1	1	0	1	5	5

男女別プログラムでは、男女別・出席番号順に、混合プログラムでは出席番号順にデータを読み込み集計します。「学級の雰囲気」のシートにあるチェック欄には、その行に読み込んだデータの性別(男子=1、女子=2)と出席番号が表示されます。

**STEP 8 C&S質問紙の結果をみる。**

左下の「散布図」のシート名をクリックし、シートを表示してください。集計結果が散布図として表示されます。



24		M-21																					
25		M-22																					
26		M-23																					
27		M-24																					
28		M-25																					
29																							

- 1) 散布図をもとに学級の実態を把握する  
プロットの分布から学級の実態の傾向を把握することができます。資料や概要版、報告書等を参考にしして実態を把握してください。
  - 2) 散布図をもとに個の位置を確認をする  
プロットの位置から縦軸「自己肯定感」、横軸「学級の雰囲気」を把握してください。  
「散布図」には、プロットとともに出席番号が表示されますので、個を把握することができます。  
男女別プログラムの場合は、女子の1番から20番が - 、21番から25番が①~⑤で、男子は1~25で表示されます。男女混合用プログラムの場合は、1~48で表示されます。  
\* 出席番号等の調整が必要な場合は、「グラフのオプション」や「データラベルの書式設定」から行ってください。
- \* 日常観察等をくわえ、総合的に実態を把握することが大切です。